

国民健康保険税の負担軽減を継続

所得割・均等割・平等割で約1億3000万円の軽減を見込む(24年度ベース)

第4回定例会

改選後初めての定例会

平成25年第4回定例会は、12月9日から1月10日までの33日間の日程で行われました。

また、南田副市長の退任に伴う平野副市長の選任や、市長・副市長、教育長の給与減額の議案も提案されました。



国民健康保険税の引き下げを平成27年3月まで再延長

社会情勢が依然として改善の兆しが見られないことから、国民健康保険税の特別減免及び課税の特例を、平成25年度に続き更に1年間延長するものです。

本条例は、平成22年4月から実施され、今回は国民健康保険税負担軽減の条例改正は3回目となります。

条例改正での特別減免は、12歳～18歳未満の扶養者を持つ国保世帯が対象で、「申請」が必要です。また、特例措置は、所得割・均等割・平等割をそれぞれ引き下げられるものです。

国民健康保険税の税率(平成21年度まで)			平成22年度～平成26年度まで(今回で2回目の延長)		
医療給付費分	所得割	9.50%	医療給付費分	所得割	8.90%
	均等割	23,200円		均等割	19,500円
	平等割	20,800円		平等割	20,500円
特別減税措置(12歳～18歳未満扶養の国保世帯が対象)			医療給付費分	均等割	9,750円



浜之市ふれあいセンターの指定管理議案を否決

単人町浜之市に所在し、長年、地域住民の憩いの場として利用されている「富の湯」の指定管理業者を、霧島市シルバー人材センターから熊本市の有限会社熊南空調システムに移行するものです。

産業建設委員会では、「施設管理運営経験のない県外の民間空調システム会社に、市民のための施設を指定管理させようとするのは、市民感情からして反対」との意見もあり、委員会では全会一致で否決、本会議でも賛成少数で「否決」しました。



3億1,518万1千円を追加

予算総額は560億6,240万8千円に

一般会計補正予算(第5号)

今回の補正予算は、農業や商店街振興に関する事業について、国県補助の採択に伴う事業費の計上、今後不足が見込まれる扶助費の追加、社会保障制度改革に伴う事務処理体制の整備に要する経費、集中豪雨被害に対応するための災害復旧経費を計上しています。

歳入歳出それぞれ、3億1,518万1,000円を追加計上し、補正後の一般会計予算の総額を、歳入歳出それぞれ560億6,240万8,000円とするものです。

は、側溝を新設し、排水する。

問 障害児通所給付事業で、利用者増ということだが、実態はどうか。

答 平成24年4月の障害者自立支援法、現在の障害者総合支援法の改正により、児童デイサービスが、児童福祉法での障がい児通所支援に切り替わった。このために児童デイサービスが平成23年度まで3か所だったものが、平成25年10月1日現在、児童発達支援が7か所、放課後等デイサービスの事業所が13か所となり、受け皿が多くなった。利用者のニーズに比べられるようになり、利用者も52%の伸びを示している。

問 購入する向花小学校用地の単価はいくらか。

答 1平方メートル当たり3万2,200円、坪当たり約10万6,500円。34台分が駐車できる。

一般会計補正予算(第5号)の主な事業

- ◆障害児通所給付事業 1億448万円
児童発達支援・放課後等デイサービス事業所への利用者増が見込まれる
- ◆児童福祉総務管理事務事業 1,080万円
子ども・子育て支援新制度の施行に伴う事務処理システムの構築
- ◆黒さつま鶏生産基盤整備事業 4,000万円
「黒さつま鶏」の素ひなを安定的に供給する種鶏場の整備に対する補助金
- ◆学校施設整備事業 1,537万7千円
向花小学校に隣接した土地を購入し、職員・PTA用の駐車場として使用する
- ◆幼稚園就園奨励事業 3,278万4千円
私立幼稚園への入園料及び保育料減額のための補助金
- ◆体育施設維持管理事業 1,500万円
単人運動場の照明灯埋設ケーブルの修繕
- ◆農地農業用施設、林業・土木施設災害復旧費 5,617万8千円
集中豪雨により被災した施設の復旧費
- ◆社会福祉施設総務管理事務事業 95万円
日当山荘の廃止に伴う日当山春光園への温泉配湯管工事費と、単人保育園民営化に伴う建物表示登記及び所有権保存登記費用

▼(反対討論) 単人保育園の民営化は住民福祉の向上を図ることに反するもので、関連予算に同意できない。日当山春光園の給湯工事費、単人保育園の民営化に伴う登記委託料は、社会福祉施設の民営化、あるいは廃止に伴う予算であるとの反対討論。

▼(賛成討論) 単人保育園の民営化に関しては、環境福祉常任委員会では民営化によって、更に質の高い保育サービスが実現できるものと賛成多数で可決された。よって本議案に賛成するとの討論があった。

▼採決の結果、議案第111号は委員会、本会議とも賛成多数で原案のとおり可決しました。